



本の紹介 『ブラジルでの人間の生殖のパイオニア』

フェルチクリンの中野英二医師の共著『ブラジルでの人間の生殖のパイオニアたち(OS PIONEIROS DA REPRODUÇÃO HUMANA NO BRASIL)』が、昨年11月に出版された。

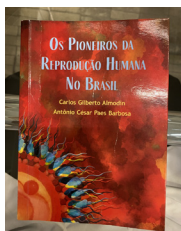
中野医師は第一章でブラジルでの生殖医学の歴史について執筆した。

●ブラジル不妊治療の黎明期

中野医師は、ブラジルで不妊治療が黎明期だった1980年代より、生殖医学の最前線で活躍してきた。先輩医師からブラジルの医療現場の様々な歴史を聞いてきた一人でもある。

中野医師はサンパウロ大学リベイロン・プレット医学部を卒業後、金沢医科大学と慶應義塾大学医学部に一年留学し、生殖医学の研修を受けた。当時、ブラジルの不妊治療は今とは比べ物にならないほど手探り状態で、最新の情報や機材を入手するためには、海外に渡ってがむしゃらに学ぶしかなかった。

日本から帰国後は、ブラジルの不妊治療の第一人者だった故・中村ミルトン医師の助手を5



《『ブラジルでの人間の生殖のパイオニア』》

年間務め、自らのオフィスを立ち上げた。独立後は、ボリビアにも生殖医学を指導しに行き、ラパスでは体外受精によって誕生した二人目の赤ちゃんを取り上げた。

「海外からブラジルに戻った後は、自分で文献を読みながら試行錯誤の繰り返しでした。ない道具は自分たちで作ることもありました」

●日本の最先端技術を導入

2000年代に入り、体外受精の妊娠率が飛躍させたのが、日本の桑山正成医師が成功させたクライオトップと呼ばれる胚の急速冷却ガラス化保存法である。桑山医師による発明から時を待たず、フェルチクリンでも同技術を導入し、最先端の治療が受けられるクリニックとして不動の地位を確固としてきた。



《故・中村ミルトン医師(左)と中野英二医師》

ブラジルの不妊治療の現場は、黎明期より日系人医師の果たしてきた役割が大きかったことは見逃せない。

※フェルチクリンの中野英二医師にお話をいただきました。

フェルチクリン FERTICLIN

Av. Indianópolis, 1960 - Planalto Paulista- São Paulo - SP

Tel: (11) 5581-2045 / 5581-3566

☎ (11) 99666-1455

www.ferticlin.com.br / contato@ferticlin.com.br

